

2021 年度事業報告書

自 2021年4月 1日

至 2022年3月31日

1 組織活動

(1) 定時社員総会

日 時：2021 年 6 月 22 日（火）14:00～15:00

会 場：オンライン（Zoom） 発信場所：大手口センタービル 3 階

出席数：99 会員（議決権対象 162 会員） うち議決権行使書の提出 64 会員

内 容：報告事項 1 2020 年度事業報告について（了承）

報告事項 2 2021 年度事業計画および収支予算について（了承）

議案第 1 号 2020 年度決算の承認について（原案通り可決承認）

議案第 2 号 任期満了に伴う監事の選任について（原案通り可決承認）

総会終了後記念講演（15:10～16:40）

- ・化粧品の効果を科学的に考えよう！～ヒアルロン酸を皮膚内に浸透させるための新たな挑戦～
講師：佐賀大学リージョナル・イノベーションセンター特任教授 徳留嘉寛氏
- ・アジア発グローバルイノベーションに向けて～韓国 COSMAX 社の事例より～
講師：武庫川女子大学経営学部 准教授 神栄美穂氏

(2) 理事会

理事会設置法人として、次のとおり理事会を開催した。

- | | | |
|-------|--------------|--|
| 第 1 回 | 5 月 26 日（水） | ・ 2020 年度事業報告及び収支決算の承認について
・ 2021 年度定時社員総会の招集の決定について
・ JCC 業務の一部譲渡、資産の売却について
・ 株式会社 KaratsuStyle 株主総会の決議事項の承認について |
| 第 2 回 | 6 月 22 日（火） | ・ 2021 年度事業計画と今後の方針について意見交換がなされた |
| 第 3 回 | 9 月 21 日（火） | ・ 規程改正等について |
| 第 4 回 | 12 月 22 日（水） | ・ 規程の制定について（電子署名及び電子文書取扱い規程、
電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程） |
| 第 5 回 | 3 月 23 日（水） | ・ 2022 年度事業計画及び収支予算について
・ 規程等の改正について |

2 新市場開拓事業

(1) 海外輸出支援事業

JCC 会員及び地域産業の海外参入及びモノづくりの産地形成（輸出用製造）を促進

するため、ハンズオン支援、展示会への出展支援、また必要な知識を提供するセミナー等を実施した。

①第7回「COSMETIC360」出展支援

会期：10月13日(水)～14日(木)

会場：カルーセル・ドゥ・ルーブル対面式／バーチャル式(ハイブリッド型)

出展企業：2社(JCC会員企業)

来場企業：3社(JCC会員企業)

上記、出展企業、来場企業の出展申請等手続きの支援、また通訳手配からデジタルプラットフォームのBtoB商談システムを活用したビジネスマッチングを実施

②マレーシアテストマーケティング

取扱い会社数 9社、商品数 27アイテム

○小売店でのテストマーケティング

実施期間：2月1日(火)～3月31日(木)

場所：DON DON DONKI Tropicana Gardens Mall 店

販売方法：販売員による説明販売

○EC専用サイトでのテストマーケティング

実施期間：2月1日(火)～3月31日(木)

場所：オンライン販売サイト Shopee「FAN JAPAN SHOP」内「JCC Cosmetic」

販売方法：商品の内容や使用方法を記載のうえ、販売

③セミナー

○9月7日(火)化粧品グローバル規制セミナー

「化粧品規制のグローバルな動向と主要国の規制概要～日本企業が海外へ輸出する際の留意点を中心に～」

講師：高橋理佳氏／三愛コスメヴィジョン株式会社 化粧品法規チーフコンサルタント

ライブ配信+5日間オンデマンド配信 参加登録：289名

○11月9日(火)マーケティングセミナー

「変化の時代を生き抜く進化思考」

講師：太刀川英輔氏(NOSIGNER代表/JIDA理事長/進化思考家)

ライブ配信+5日間オンデマンド配信 参加登録：112名

④海外販路開拓支援

○EU輸出レジスト事業

BIORIUS(本社ベルギー) Taobe Consulting(本社ベルギー)と輸出サービス設計

○その他海外案件対応

成分表示名称作成の申込代行サービス 1件

フォロー案件：輸出(1件成約、2件継続中) 企業マッチング(1件成約)

(2) 地域コスメ販路開拓支援事業

展示会への出展、また催事等により JCC 会員及び九州各県の地産素材を活かしたコスメ商品の国内販路開拓を支援した。

①第 40 回「健康博覧会 2022」出展

会期：2月8日（水）-10日（木）

会場：東京ビッグサイト 南全館

展示出展 16社（会員 10、県内 14、団体 1）

佐賀県産素材使用ブランド参考展示 9社（会員 7、非会員 2）

○ 2月10日（木）ビジネスセミナー

「地域とともに変化を続けるコスメ構想～9年目を迎えたジャパンコスメティックセンターの軌跡とこれから～」

○ 2月10日（木）出展者プレゼンテーション

「アジアでのコスメビジネス展開でおさえるべきポイント」JCC 説明

②九州コスメプロジェクト

取扱店舗：6か所（佐賀県内 2、福岡 3、東京 1）

催事 ・12月18日（金）-20日（月） 8ブランド、25アイテム@佐賀市

・2月17日（木）-28日（月） 7ブランド、65アイテム@福岡市

EC販促イベント実施

・実施期間：3月1日（火）-28日（月）

場所：Yahoo!ショッピング店、楽天市場店、au woman 店

3 産業創出事業

(1) 産学連携プラットフォーム構築事業

国内外のコスメ関連研究者のネットワークを構築することにより、新技術を創発する場を創造するとともに、産業界に資する人材育成の体制を整備した。

①佐賀大学共同研究講座事業【佐賀県委託事業】

○ 8月26日（木）佐賀大学共同研究講座「化粧品科学講座」開設記念セミナー

会場：ホテルマリターレ創世 4F／バーチャル式（ハイブリッド型）

参加者 123名（会場 20名、ライブ配信 103名）

○ 3月19日（土）、20日（日）高校生向けコスメ講座 会場：唐津、佐賀

参加者：延べ 61名（19日 42名、20日 19名）

○ 佐賀大学講義 農学部3年生対象「コスメ産業学」（4コマ）

○ 共同研究（佐賀県内：研究計画策定 3件、県外 2件）

○ メディア情報発信：19件（論文掲載 4件、学会発表等 13件、雑誌掲載 2件）

②2月19日(土) シンポジウム

「高校生・大学生のための化粧品の世界」

講師：JCC エグゼクティブアドバイザー6名

会場：大阪樟蔭女子大学、唐津会場対面式／バーチャル式（ハイブリッド型）

参加者 125名（大阪42名、唐津9名、ライブ配信74名）

オンデマンド配信 視聴回数86回

③国際産学連携

CNRS ヒアリング4大学→対応案件1件（玄海町甘草の成分分析）

④特許事業

佐賀大学共同出願特許→特許登録

佐賀県工業技術センター共同出願特許→審査請求中

⑤共同研究

JCC 研究公募実施（原料開発型・事業開発型）

・JCC 化粧品等共同研究（原料開発型）チャレンジ助成事業（採択数 1件）

・JCC 化粧品等共同研究（事業開発型）チャレンジ助成事業（採択数 2件）

・JCC、佐賀大学共同特許を活用した三者共同研究（継続）

(2) ナレッジ・ネットワーク形成事業

化粧品に関する様々な分野の専門家ネットワーク（エグゼクティブアドバイザー6名配置）を構築し、会員企業の相談等に対し専門家によるきめ細やかかつ的確な支援を実施した。

○11月11日(木) 専門サイトオープン 相談件数8件、セッション数457

会議4回（9月28日、12月3日、12月17日、3月25日）

○1月21日(金)JCC ナレッジセミナー01（エグゼクティブアドバイザー3名登壇）

ライブ配信（98名）＋オンデマンド配信（237名）

○3月18日(金)JCC ナレッジセミナー02（エグゼクティブアドバイザー3名登壇）

ライブ配信（101名）＋オンデマンド配信（274名）

(3) 海外クラスター連携事業

グローバルコスメティッククラスター（GCC）との交流・連携の強化を中心に海外の最新の情報を収集し、JCCのグローバル展開の促進を図った。

①GCC活動参画

○Cosmetics Clusters Rendez-Vous 2021（GCC定時総会）

10月14日(木) 20:00～ オンライン参加

○コミュニケーション委員会（6月8日、9月10日、12月10日、3月18日）

②10月21日(木) 韓日経済産業交流シリーズ※KOTRA 連携事業

「韓国：K-Beauty 化粧品産業セミナー」

オンラインセミナー (Beauty Expo Owson 内) 参加者 45 名

(4) 会員ネットワーク形成事業

会員企業及び地域産業のビジネスに関する課題や検討項目を把握するとともに、相談対応及び支援を行った。

① 会員アンケート実施

実施期間：12月24日(金)～1月31日(月)

回答数 25件(回答率約15%)

② 専門アドバイザー3名配置(販路開拓、情報発信等)

③ HPリニューアル業務 ※既存サイト移行作業中。2022年7月オープン予定

4 地域ブランド事業

(1) 情報発信事業

JCCの取組成果や会員企業、地域の魅力を、オンライン及びオフライン(ファムトリップ)など多様な媒体を駆使して国内外に発信した。

① ショーケース事業

○ JCCポップアップギャラリー運営

・取扱い商品 27社、352アイテム

・地元ケーブルテレビ「ぴーぷる放送」でCM放映(4月～3月)

② ウェブマガジン発行

・健康博覧会出展企業商品紹介5件 ※市民ライター記事制作

・イベントレポート(健康博覧会)1件

③ セミナー

○ 2月17日(木) 第1回コスメ未来創造セミナー「化粧品産業ビジョンについて」

(オンライン形式：参加者92名)

○ 3月3日(木)「成功するためのクラウドファンディングセミナー」

(ハイブリッド形式：唐津会場8名・オンライン18名)

④ ファムトリップ(現地体験ツアー)

3月7日(月)～10日(木) 呼子、加唐島、唐津市内(参加者6名(大学生))

⑤ その他情報発信

・Pollo dela cosmesi オンラインマガジン(9月号)掲載

・週刊粧業(10/18秋の特大号)記事広告掲載

・3月13日(日) CROSS FM イベント出展(博多駅前) ※唐津市連携事業

・セミナー登壇

6月8日(火) 日仏経済交流イベント CEFJ オンラインフォーラム

「化粧品/ウェルビーイング業界のイノベーション」

12月15日(水) EURAXESS Rickshow Roadshow in Kyushu

1月28日(金) 産学官連携ウェビナー(ミンダナオ島周辺商工団体勉強会)

・ホームページの運営(22,289セッション、15,589ユーザー、61,123PV/年)

メールマガジンの発行(44件、配信アドレス数1,028件)

(2) 地域原料開発支援事業

地域発原料供給を促進するための事業を行った。

①玄海町プロジェクト

玄海町、薬用植物栽培研究所と連携した事業を実施するための仕組みづくりに着手。

②JCC 開発室の廃止に伴い、機器の有効活用のため佐賀大学内(共同研究講座)や地域振興事業への機器移設を実施

5 専門人材配置事業

(1) 専門人材配置

当会活動を効果的・効率的に進めるため、専門人材を配置して業務を遂行した。

【専門人材体制：2022年3月末時点】

6名(うち県委託事業による採用者：1名)

・プロジェクトマネージャー：1名

・事務局長：1名

・プロジェクトリーダー(佐賀大学共同研究講座特任教授)：1名

・コーディネーター等：2名(国際1名、製販1名)

・ショーケース担当者：1名

6 会員の状況

(1) 2020年度期末

正会員	147
支援会員	26
計	173

(2) 2022年3月31日時点

正会員	122(継続117、新規入会5)
支援会員	26(継続25、新規入会1)
計	148(継続142、新規入会6)